

- 令和元年東日本台風による被害概要 -

あの日、川崎市では



人的被害	死者 軽傷者	1名 7名
------	-----------	----------

住家被害	全壊 半壊 一部破損 床上浸水 床下浸水	38件 941件 167件 1,198件 379件
------	----------------------------------	---------------------------------------

ライフライン	停電 ガス停止	22,400件 154件
--------	------------	-----------------

公共関連被害額	道路 河川 港湾	約11億円 約46億円 約14億円
---------	----------------	-------------------------

民間関連被害額	製造業等 農業 住宅	約58億円 約0.3億円 約71億円
---------	------------------	--------------------------

最大総雨量	麻生区黒川	338mm
-------	-------	-------

(令和元年12月末時点)



その時、避難所では

市内で最大 158箇所の避難所を開設し、最大 33,150 人が避難されました



避難所である学校の体育館や教室に多くの方が集まりました

停電した避難所もありました



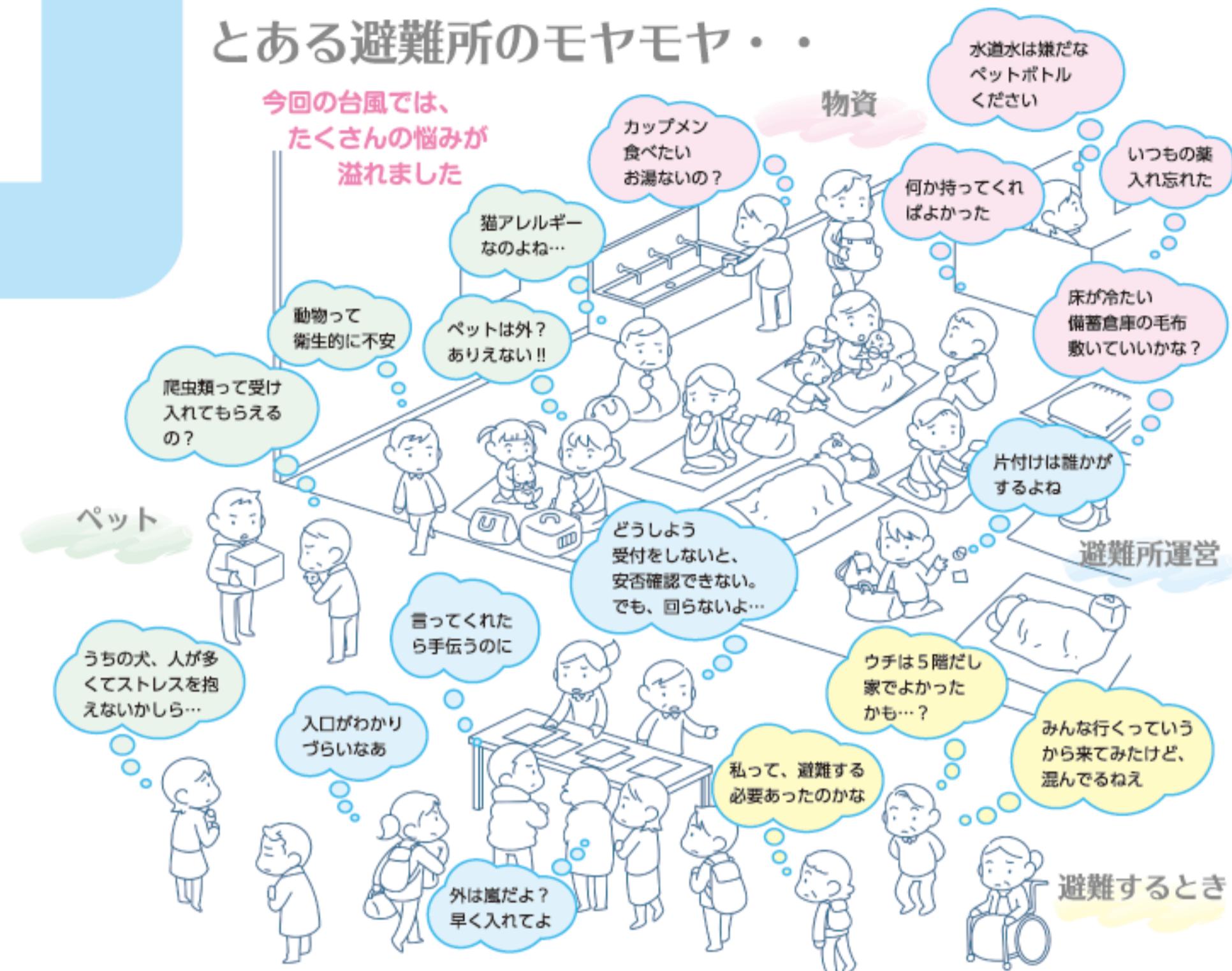
避難所の受付には多くの方が並び、なかなか中に入ることができませんでした

部屋の中に入りきれず、廊下や階段も避難スペースとしました

避難された方が集中した避難所の対応として、市バスでの移送を実施しました

とある避難所のモヤモヤ・・

今回の台風では、
たくさんの悩みが
溢れました



避難所は、みなさんの満足を目指す「ホテル」ではございません

みなさんの「命を守る」ことを最優先に基本ルールづくりや避難所整備などのさまざまな対策を進めていますが、大勢の人で溢れる避難所では、全員が満足するということは難しいのが現実です。

しかし、一人ひとりの備えや小さな配慮、地域の思いやりが重なることで、できることはたくさんあります。みなさんの命や大切な家族を守るために、すぐ行動しましょう。



これからの台風に備えて、今すぐできること

①ハザードマップで危険を確認

- ・自宅に危険があれば、避難行動を今すぐチェックしましょう
- ・P06-07へ

②非常持出品を用意

- ・家庭の事情に合わせたものを用意しましょう
- ・裏表紙の下へ

③ペットの飼い主はケージを準備

- ・毛や糞の飛散を抑止するなど、周辺への配慮が必要です
- ・慣れない環境はペットにもストレスです
- ・できる限り事前の預け先を考えておきましょう

川崎市は、洪水からの避難について考え直します。

今回の令和元年東日本台風では、洪水からの避難に多くの課題がありました。

例えば・・

- 避難所の備蓄物資は、長期間にわたる避難生活を想定していましたが、今回の台風対応では、避難所によって配る、配らないなどの取り扱いが異なりました。
- 風水害を想定したペット受け入れのルールがあらかじめ決まっていましたが、
- 洪水のような短時間の避難では、行政が避難所を運営することとなっていましたが、今回のように大勢の方の避難を想定できず、混亂が生じました。

あらゆる課題について検証を進めていますが、当日にどう考え方行動したのか、また、風水害からの避難について、日頃から考えていることなど、率直なご意見をお寄せください。



アンケートはこちら